

品川区教育委員会会議記録

平成 22 年 第 10 回 定例会

場 所 教育委員室
期 日 平成 22 年 7 月 27 日
開 会 午後 4 時 05 分
閉 会 午後 6 時 35 分

出席委員	委 員 長	安尾 久子
	委員長職務代理者	細川 珠生
	委 員	市川 信之助
	委 員	鈴木 敏夫
	教 育 長	若月 秀夫
欠席委員		

出席職員	教 育 次 長	市川 一夫
	庶 務 課 長	田村 信二
	学 務 課 長	富田 祥子
	指 導 課 長	冠木 健
	小中一貫教育担当課長	和氣 正典
	品川図書館長	小川 陽子

議事運営および 委員長、教育 長報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> 署名委員に鈴木委員、市川委員を指名。
-----------------------------	--

件名	日程第1 協議事項 平成23年度小学校使用教科用図書の採択について（国語）
担当課説明等	（指導課長） ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	<p>（委員A）</p> <ul style="list-style-type: none"> 5社のうち、C社のみが1年生の夏休み前に漢字の指導を始めている。 常用漢字が増えることになっているが、区では習得する漢字について修正するのか。 <p>（委員D）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大造じいさんとガン」での各社の課題の扱いについてだが、B社は「考えましょう」というスタイルで非常にシンプルであり、A社は親切すぎるようだ。 <p>（委員C）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大造じいさんとガン」についての感想だが、A社は「学習の手引き」がかなり詳しいという印象だ。 <p>（委員B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語は全ての学習の基礎となる。各社とも決定的な違いは感じられない。B社くらいの高いレベルがよい。 これからの子どもに必要なことは、創作するなど「書く」ことによって思考力を高めることである。実際に文章を書く学習活動を多くすることが大切だ。文章を書くことや創作活動などで品川の子どもを訓練してあげたい。子どもに書かせる学習を多くさせるような教科書はどこか。 <p>（委員A）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書く」力は多くの本を読むことで身につく。小さい頃からの読書習慣で身につけていくことであるので、読書の指導をしっかりとってほしい。 <p>（委員E）</p> <ul style="list-style-type: none"> 区の小中一貫教育要領に合致するのはC社だと思う。 B社は難しいようだが、区の教員には指導しにくい内容だということか。 <p>（委員D）</p> <ul style="list-style-type: none"> どの会社も色々な工夫をしている。国語は母国語であり、大事な教科だ。「読み取る力」、「言葉の理解」、「考える」、「表現する」これらの力はひたすら訓練のように繰り返すことが大切である。こういった反復がシンプルにできるような教科書を選択すべきだと思う。盛りだくさんの内容である必要はない。 読むことは自発的に自由にするのが良いが、書くことは教えなければいけない。 A, B, C社などがよいと思うが、あえて選ぶならC社を推したい。 <p>（委員C）</p> <ul style="list-style-type: none"> A社かC社かで悩んだ。A社は懇切丁寧だが、行きすぎではないかと

	<p>思う。書くことやポイントを絞った指導などを考慮するとC社とすべきだと思う。</p> <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人的にはA社の内容がよいと思う。
事務局説明	<p>(指導課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C社の漢字の扱いについて、C社が1年生の一学期に使っている漢字は漢数字の一から十や、「月」や「日」であり、夏休みの絵日記などへの配慮をしていると思う。 ・ 漢字の扱いについて、区では小中一貫教育要領に、学習指導要領で配当されている漢字については書くことも含めしっかり学んでいくように定めており、小中一貫教育要領で定めるとおりに進めていく。 ・ 「書く」ことに関わる教科書について、C社では「書く」ことについて具体的なスキルを教えている。このような教科書は少ない。 ・ B社の難易度について、区の教員についてはB社のように難易度が高くても対応はできる。
委員意見要旨	<p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C社を推す意見が多い。C社で仮決定したい。 <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし
議事結果	<p>国語はC社に仮決定する。</p>

<p>件名</p>	<p>日程第1 協議事項 平成23年度小学校使用教科用図書の採択について（書写）</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>（指導課長） ・ 資料に基づき説明</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>（委員D） ・ 視覚的にはB社のイラストは効果があると思う。 ・ 筆圧についてあわせて学ぶ必要がある。筆圧について触れているのはC社とD社だ。</p> <p>（委員C） ・ 国語の教科書との連動や関係性は必要か。</p> <p>（委員A） ・ 書写は週に何時間程度行っているか。 ・ 大人になってから小筆で自分の名前くらいかけるようになってもらいたい。 ・ 3年生の早い段階で毛筆をやるべきなのに、各社とも硬筆との関わりが強くなっている印象だ。</p> <p>（委員D） ・ 手本が右にあったり、左にあったりするようだが、どのように記載するのがよいのか。</p> <p>（委員A） ・ B社には書き初めがある。書き初めの名前のバランスなども難しいので、お手本があるのはよい。 ・ D社の半紙大の手本は子どもにとってよい。</p> <p>（委員E） ・ 課題の大きさや多さによる差異はどうなっているか。</p> <p>（委員D） ・ D社の手本は手紙大のものがあってよいが、書き初めの手本が小さいのが残念だ。</p> <p>（委員C） ・ B社かC社を推したい。B社は学ぶものが沢山あった。</p> <p>（委員A） ・ D社のように実物大の手本はあった方がよいと思う。</p> <p>（委員B） ・ 鉛筆の持ち方などは左利きの子どもの例も掲載するなどの配慮があってもよいのではないか。子どもへの配慮がほしい。 ・ 左利きの子どもへの配慮として、毛筆は左手では書けないので、そのこと自体の説明もすべきだ。 ・ 良い文字の手本だけでなく、駄目な文字の手本も掲載すべきだ。 ・ 手本などからD社を推したい。</p>
<p>事務局説明</p>	<p>（指導課長） ・ 筆圧について、筆先などの動きについて具体的な説明が必要だ。 ・ 国語の教科書との関係性について、検討委員会でも検討されたが、具体的に連動しなければならないという理由は見受けられないとのことである。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 書写の授業については週1時間程度行っている。 ・ 毛筆は30時間程度確保しており、計画的に毛筆を指導することが硬筆の指導の基礎となる。 ・ 手本の配置について、検討委員会では左ページにあった方が良いという意見が多かったが、絶対的な判断基準はない。見開きになったお手本が実際の半紙の大きさに近く、特に3年生の初期はこのような形の手本が有効だという意見もあった。 ・ 各社とも題材の扱い方に大小はあるが、毛筆については3年生から6年生で30題程度となっており、大きな差異は認められない。
委員意見要旨	<p>(委員E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ D社を推す意見が多い。D社で仮決定したい。 <p>(委員一同)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異議なし
議事結果	書写はD社に仮決定する。
議事運営	10分間の休憩とする。

件名	日程第2 協議事項2 平成23年度新入学者の取扱いについて
担当課説明等	(学務課長) ・ 資料に基づき説明
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	了承

件名	その他 平成22年8月の行事予定について
担当課説明等	(庶務課長) <ul style="list-style-type: none"> ・ 8月の委員会開催について、8月3日に臨時会を開催することとしたい。 ・ また、9月については区議会の日程との関わりもあり、9月7日と9月28日の開催としたい。
委員質疑要旨	特になし
事務局説明	特になし
委員意見要旨	特になし
議事結果	8月の教育委員会開催を8月3日とする。 9月の教育委員会開催を9月7日、9月28日とする。

<p>件名</p>	<p>追加議事日程 委員長の選挙について 委員長職務代理者について</p>
<p>担当課説明等</p>	<p>(安尾委員長) 7月31日をもって委員長の任期が満了となる。各委員の意見をうかがいたい。</p>
<p>委員質疑要旨</p>	<p>(細川職務代理者) ・ 委員長については、従来から慣例で主に1年交代で行ってきた。委員長のあり方、選出のあり方については慣例ではなく、委員の中で考えてみたい。 教育委員会としてより良い機能を果たすために、慣例にとらわれずに柔軟に対応し、機能を果たしていくべきだと考える。 ・ 1年交代にはメリットもデメリットもある。 ・ 現在の品川区の教育委員会の状況からは安尾委員長に引続き委員長の職に継続して就いていただきたいと考えている。</p> <p>(鈴木委員) ・ 1年交代のメリットデメリットをどちらをとるべきなのか、判断しかねる部分はあるが、委員長職の負担は大きいので、我々委員で委員長の負担を軽減するように考えていくべきだと思う。</p> <p>(市川委員) ・ 今まで慣例でやってきた部分であり、逆に話題にしにくい部分があった。教育委員会が自ら考え、変わっていくということは必要だと思う。 ・ 慣例で委員長を1年で交代するのは疑問がある。 ・ 安尾委員長の負担は大きいと思うが、引続き安尾委員長に委員長をお願いしたいと思う。 ・ また今後委員長職のあり方をどうするかを考えておくという問題はあると思う。</p> <p>(若月教育長) ・ あくまで委員長職のあり方に関してへの感想だが、安易な1年交代をやめるとするのは委員会の活性化という点で良い提案だと思う。</p> <p>(鈴木委員) ・ 委員長は安尾委員長に引続き就いていただきたいと思う。</p> <p>(安尾委員長) ・ 以上のご意見をいただき、話し合いを行い委員長を推薦していただいた。</p> <p>(細川職務代理) ・ 委員長の選出については、委員会の中で委員会としての課題や状況を勘案して話し合っただけで決定していくことにしたい。 ・ 今回、安尾委員長に委員長を継続してほしいという意見で一致を見た。</p> <p>(安尾委員長) ・ 皆さんからのご意見ですので、8月1日から新しい委員長の任期ということで、継続して委員長の職をお引き受けしたい。 ・ なお、職務代理者についても推薦をいただきたい。</p> <p>(市川委員) ・ 細川職務代理者に引続き職務代理者をお願いしたい。</p> <p>(細川職務代理者) ・ 引続き職務代理者の職をお引き受けしたい。</p>

	<p>(鈴木委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も委員会の重要な問題は委員の中で早めに話し合い、決めていきたい。委員長選出などについては2ヶ月くらい前から委員同士で話し合うのが良いと思う。 <p>(安尾委員長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以上、品川区教育委員会会議規則により、委員長ならびに委員長職務代理者を指名推薦の方法で選出を行った。
事務局説明	
委員意見要旨	
議事結果	<p>安尾委員長を選出 細川委員長職務代理者を選出</p>